

5

みんなのまちの大きなキャンパス

北海道科学大学

1967年に誕生した、前田にある大きな大学です。最近では新しい校舎が立ちならび、高校も引っこしてきて、たくさん的高校生・大学生が学んでいます。毎年7月には、ここで「ていね夏あかり」というお祭りが開かれて、手稲の夏のふうぶつとして親しまれています。



6

昔、農場で働く人たちが建てた

前田自作農記念碑

前田農場で働いていた「小作人」51人が農場主から土地を買い取って「自作農」となったことを記念して昭和11年（1936年）に建てられました。最初は新川中央橋近くにあった新川神社にありましたが、昭和60年（1985年）に今の場所に動かされました。



7

『とうぐうちゅうれんきひ』と読むよ

東宮駐輦記碑

明治28年（1895年）、前田家当主の利嗣（としつぐ）がこの地に前田農場を開きましたが、明治44年（1911年）に当時の東宮（のちの大正天皇）がこの農場を見学に来られ、「御便殿（ごべんでん）」（休けいする場所）が建てられました。この石碑は、そのことを記念して建てられたものですが、平成25年（2013年）に今の場所に動かされました。



8

テレビでも紹介!とっても大きな桜の木

しだれ桜

松浦さんの家の庭にある、高さ6メートル、横に広がる長さは8メートルの大きな桜です。1983年に植えられたもので、テレビや新聞でも紹介され遠くから見に来る人もいるほど。旧軽川にある桜の多くは、この桜の種を植えたものだそうです。



9

満開の桜の絶景スポット

桜の欄干の橋

この橋の名前は「新稲山橋（しんいなやまばし）」といいます。橋の手すりをよく見てみると、かわいい桜の模様がついています。春にまわりの桜が満開になると、本物の桜の花と橋の模様が重なって、とてもきれいです。橋の下は遊歩道になっているので、桜のトンネルをくぐって散歩も楽しめます。



町の下には、昔の人の「村」があった!?

手稲の遺跡 手稲区N295遺跡

昭和59年と60年に、今の前田公園の場所を調べると、地面の下から大昔の人の家やお墓（はか）が見つかりました！今からおよそ2000年以上前の「縄文（じょうもん）～続縄文文化」の家とお墓などが数多く見つかりました。お墓の中からは、大昔の人が使っていた土器や石器もたくさん出てきました。これらは今、札幌市埋蔵（まいぞう）文化財センターに保管されています。



前田と手稲の主なできごと

1872 (明治5)	・仙台白石藩の人々が上手稲に移住し手稲村が始まる
1873 (明治6)	・札幌～小樽間に道路ができる
1880 (明治13)	・手室(小樽)～札幌間に鉄道開通(翌年、簡易停車場が開業)
1882 (明治15)	・手稲村は上手稲村・下手稲村・山口村の三村となる
1888 (明治21)	・新川が掘られる ・手稲（軽川）と石狩（花畔）を結ぶ道路ができる
1891 (明治24)	・星置の鳥谷部弥平治さんが手稲山で金の鉱脈を発見
1895 (明治28)	・前田利嗣侯、前田に農場を開く
1911 (明治44)	・皇太子殿下(後の大正天皇)が前田農場を視察
1912 (明治45)	・日本石油製油所が軽川で開業
1922 (大正11)	・軽川～花畔間に馬車鉄道が走る
1934 (昭和9)	・札幌～小樽間に省営バス開通
1935 (昭和10)	・手稲鉱山が本格操業開始
1938 (昭和13)	・前田農場が歴史を閉じる
1942 (昭和17)	・地名として「前田」が定められる
1951 (昭和26)	・手稲村から手稲町に変わる
1952 (昭和27)	・軽川駅から手稲駅に名前が変わる
1953 (昭和28)	・前田11-10近辺で土器が見つかる(翌年、手稲遺跡として調査される)
1957 (昭和32)	・手稲山に初のテレビ放送塔ができる
1965 (昭和40)	・手稲鉄北小学校開校 ・テイネオリンピック・スキー場開業
1967 (昭和42)	・手稲町が札幌市と合併 ・北海道工業大学(今の北海道科学大学)開学
1971 (昭和46)	・札幌自動車道(札幌バイパス)開通 ・手稲鉱山が閉山される
1972 (昭和47)	・第11回冬季オリンピック開催(手稲山がアルペン競技とそり競技の会場になる) ・札幌市が政令指定都市になり、手稲町は西区手稲に
1976 (昭和51)	・手稲高校新校舎が落成し移転
1978 (昭和53)	・前田小学校開校
1979 (昭和54)	・前田会館ができる ・下手稲通が石狩手稲通まで開通
1980 (昭和55)	・前田北小学校開校 ・西区体育館(現在の手稲区体育館)完成
1982 (昭和57)	・前田中学校開校 ・手稲駅北口が開設され前田方面の利便性が向上 ・「ていねブルー」完成
1984 (昭和59)	・前田公園で遺跡の発掘調査が行われる ・手稲郵便局が富丘から前田へ移転
1986 (昭和61)	・前田中央小学校開校
1987 (昭和62)	・手稲溪仁会病院が開院
1989 (平成元)	・西区から分区し、手稲区が誕生
1991 (平成3)	・軽川桜つづみ完成
1992 (平成4)	・前田森林公園が10年かかって完成する
1993 (平成5)	・前田しらかば児童会館開館
1994 (平成6)	・前田北中学校開校 ・手稲曙温水プール完成
1995 (平成7)	・下手稲通が全線開通
2002 (平成14)	・現在の手稲駅開業、自由通路「あいくる」誕生
2004 (平成16)	・手稲警察署開設
2009 (平成21)	・「ていね」が発見される
2014 (平成26)	・「北海道工業大学」から「北海道科学大学」となる
2017 (平成29)	・手稲町と札幌市が合併して50周年を迎える
2023 (令和5)	・北海道科学大学高等学校が豊平区から移転

前田のお宝イベント

軽川のこいのぼり

前田橋の上流から下手稲橋の下流にかけて、たくさんこいのぼりが風に吹かれて泳ぐ姿は前田の名物です。毎年、4/29～5/5まで開催されます。



道道石狩手稲線の花植栽

5月下旬、石狩手稲線の歩道ます花だんに4000株ほどの花の苗を地域のみんなで植えていきます。



地域ふれあいスポーツフェスタ

7月中旬に、前田中央小の体育館で行われる、親子や園児・幼児も参加できる運動やゲームをするイベントです。



軽川の魚放流

7月下旬、軽川の前田橋よりやや下流のところで、ヤマメの放流をします。地域の親子が参加し、自然と触れ合える夏のイベントです。



前田ふれあいまつり

8月上旬に、前田公園で開催される前田地区最大のお祭りです。出店のほか、地域児童の踊り・ビンゴ・よさこいなどが行われます。



前田まちのお宝写真コンテスト

前田の魅力を発見する小学生のコンテストです。優秀作品は表彰され、応募作品は手稲駅「あいくる」で展示されます。

